



11月に入り、実りの2学期も後半となりました。10月には人権同和教育月間を行ったり、11月初めには、各学年の行事があったりと、充実した日々を過ごしています。



## 後期人権同和教育月間

多様性を認め合うこと  
知ることが分かりあえること

10月6日～29日は人権同和教育月間でした。月間に先立ち、校長講話を行いました。

日本語教室を利用している生徒の皆さん、ご家庭のみなさんに協力していただき、母国のきれいな景色を教えてくださいました。例えば、ブラジルにはレンソイス・マラニャンセス国立公園があるそうで、宇宙からの衛星写真でもはっきりと確認できる広大で真っ白な砂丘が広がっています。雨季には、写真のように、広大な砂丘のなかにいくつもの湖が出現するそうです。こんなにきれいな場所があるのですね。

一步外に出てみれば、知らないことばかりですね。自分が住んでいる世界がすべてではないということがよくわかります。お互いの違いを知ること、違いを認め合うこと、自分を大事にすること、相手を大事にすること、が大切だということです。知らないことが不安を呼び、不安が差別を呼び、差別が人権を脅かします。月間中、様々な人権問題について学びましょう。そしてすべての人の命と人権が守られ、尊重される社会をつくっていきましょう。(校長講話より)



玄関前にひと際存在感を示すメタセコイアの木が綺麗に色づき、朝日に照らされています。和名は曙杉。だからこそ、学校で一番に陽の光を浴びる場所に植えられたのでしょうか。

### ◆1学年

福祉についての学習を通して、様々な人の立場になって考え、自分は何ができるか考えました。10月15日(金)の5、6校時に、上田市社会福祉協議会、身体障害者福祉協会、聴覚障害者協会、点訳ボランティアの皆様にご協力をいただき、「車イス体験」「高齢者疑似体験」「ユニバーサルデザイン」「手話」「点字体験」を行いました。各講座、体験内容は異なりましたが、障がいを持った方々や、高齢者の皆さんに寄り添う気持ちが持てた貴重な体験でした。



### ◆2学年

身近な社会にある偏見や差別を取り上げ、その差別意識や差別に立ち向かった人々の生き方を学習しました。そのなかでもハンセン病患者に対する差別をとりあげました。ハンセン病治療の歴史や当事者の皆さんの資料を通して、差別問題を自らの問題として考え、自らの人権感覚を磨いていこうとする場となりました。

### ◆3学年

被差別部落の問題をとりあげ、歴史的な経過や、差別に対してどのように立ち向かってきたのかを学習しました。11月4日には、被差別部落出身の方から、ご自身のお子さんが経験した結婚にかかわる差別について話をお聞きし、今もなお存在する差別の現状を再認識し、人権問題を解決しようと決意をあらたにする機会となりました。



### 本年度重点の取組

生徒が学び方の見通しが持てる  
単元・授業の構想と、学びの自覚  
ができる振り返りの場の設定に  
ついて

### ◆理科の授業

わらび餅を噛み続けていると甘く感じるようになります。その変化はわらび餅に含まれるデンプンが糖に変わったからではないかと生徒は考えました。そして、噛むことでその変化が生まれるのか、唾液が関係しているのか予想を立て、実験で検証することになりました。噛むことでデンプンは糖に変わらないことがわかった生徒は、今度は唾液の働きについて実験を行います。

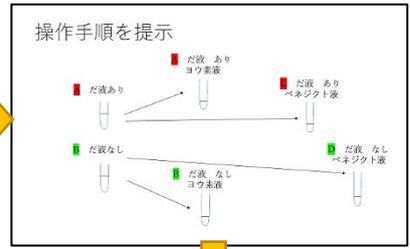
本時は、今までの学習を生かして実験方法を確認し、結果を予想して実験を行うことを通してデンプンの変化について実証する授業です。

導  
入

追  
究

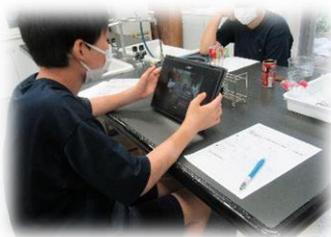
まとめ・  
振り返り

本校では、子どもたちが主体的に学習に取り組めるように「やってみよう」「知りたい」「できるようになりたい」と思える学習問題を設定し、どのようにすれば解決したり達成したりできるか考えながら学び、できるようになった自分を理解して次の学びの意欲を持てるような振り返りを行うことを授業で行っています。



	A だ液あり ヨウ素液	B だ液なし ヨウ素液	C だ液あり ベネジクト液	D だ液なし ベネジクト液
予想した結果	変化なし	変化あり(青黒)	変化あり(赤)	変化なし

前の時間に生まれた新たな疑問を確認し、解決するための手立てをみんなで共有した後、今まで学んだことを生かして予想を立て、学習の見通しをもちました。



自分の予想が正しいか実験を通して検証します。実験結果が他のグループと合っているかどうか確認するために、Chromebookで写真を撮ってクラス全体で確かめました。

＜結果から考察してみよう＞ A.変化なし. B.変化あり. C.変化あり. D.変化なし

実験の 1. 唾液の試験管口 デンプンが糖に変化した。2. 唾液の試験管口 デンプンが糖に変化しなかった。よって、デンプンが糖に変化する。唾液には酵素があると考えられる。(水+デンプン+溶液で、ヨウ素液、ベネジクト液の反応から、デンプンが糖に変化していった) ⇒ デンプンが残っていた。

学習に見通しをもって取り組むことで、多くの生徒が次のような活動ができました。

- 学んだことを生かし、実験から言えることを自分なりにまとめようとしていた。
- 見通しをもって実験を行ったことで、結果を整理し考察できた。
- 友だちの考察を参考に、自分に不足している視点を補っていた。

◆数学の授業

2学年の一次関数の授業では、グラフや表、座標の値から式を求める学習を行います。求め方は1つではなく、複数の方法の中から自分で選んで式を求めます。

本時は新たな学習問題、一次関数のグラフで2点の座標が示されているときに、どのように式を求めればよいか考える場面です。

今まで学習した式の求め方から、自分で選んで解いていきます。どのような解き方が適当なのか級友と意見を交わしながら、式の求め方について理解を深めていきます。

導  
入

生徒とのやり取りを通して前時までの学習内容を振り返り、学習問題、学習課題を設定する。

グラフに書いて求めることもできるけど、切片がちょうどじゃないときやグラフの範囲内で表せない直線のときはどうする？



学習問題を解決するための手立て（見通し）を全員で確認する。

本時の課題に取り組む意味や目的を、生徒が納得するように伝える。

追  
究

見通しが立ち、課題が明確になっているので、解決しようする意欲が高まっていました。クラス全体で自分の考えを伝え合う姿が見られました。



ま  
と  
め  
・  
振  
り  
返  
り



色々な方法でのまとめ方を関連させながら、確認していく。

自分の学びを振り返る場面では、以下のように、自分の取組を修正したり、新たな方法で解こうとしたりする姿が見られました。

- 最初は表でやってみた。最後はグラフの座標を求めて表のやり方でやったら間違っている気がしたから連立方程式でやり直した。
- 最初は変化の割合でやっていたが、少し時間がかかったので、最後は連立方程式でやったらとてもはやくできた。
- 最初は連立方程式でやり、簡単であったが少し間違いがあった。最後まで連立方程式でやった。最初よりもより正確にできた。
- 最初はグラフでやろうと思ったけど、グラフ用紙がなかったらと考え、連立方程式でやることにして、友だちに教えてもらったおかげでなんとかできた。最後は友だちに教えてもらった事を思い出しながらやってみたら、教えてもらわなくても一人でできた。



学ぶ目的があるから知識や技能を身につけたいという思いを持ち、自分で見出した課題や問題だからこそ、思考を働かせ、解決するために判断し、解決した筋道を表現して伝えようとする事ができるのだと思います。そしてその自分の学びを自覚できたときに、「もっと～したい」という次の学びへの主体性が育ってくるのだと思います。

第一中学校ではこれからも、生徒が主体的に学習に取り組めるように授業改善に努めていきます。

## 全国学力・学習状況調査の結果について

全国の中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果について分析がまとまりましたのでお知らせします。

### 1 全体的な傾向

教科	結果
国語	全体の平均正答率は全国平均とほぼ同じです。領域別では、「話すこと、聞くこと」においては、全国平均を上回っていますが、「読むこと」「書くこと」については課題が見られます。
数学	全体の平均正答率は全国平均をやや上回っています。領域別では、「関数」「資料の活用」においては、全国平均を上回っていますが、「数と式」「図形」については課題が見られます。

### 2 結果を踏まえた指導の改善について

#### <国語>

「読むこと」については、具体的な叙述を根拠に自分の考えをもつ学習場面を設定し、書かれている考えの根拠となる叙述について検討したり、自分の考えを書き、書いた内容を他の人と交流したりすることを通して、叙述と結び付けて自分の考えをもつ力を身に付けていけるようにします。

「書くこと」については、自分の伝えたいことが分かりやすく伝わるように、読み手の立場に立って文章を整える学習場面を設定し、自分が書いた文章を捉え直すことを通して、読みやすく分かりやすい文章を書く力を身に付けていけるようにします。

#### <数学>

「数と式」については、数量の関係について成り立ちそうな事柄を予想し、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明する場面を設けます。その後に条件を変えて考えることを通して、統合的・発展的に考察する力を高めていきます。

「図形」については、図形の性質を考察する場面を設定し、予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考える場面を設けます。そのことについてお互いに説明し合い、相手の考えを参考にしたり自分の考えを修正したりすることを通して、数学的に表現できる力を高めていきます。

## 当面の主な予定

感染警戒レベルを考慮して実施の可否を判断いたします。実施する場合には、感染防止対策を励行いたします。  
変更する際は改めてご連絡いたします。

- 11月15日（月） 3学年薬物乱用防止教育講演会
- 11月18日（木） 生徒会立会演説会・選挙  
メディアコントロール週間（～25日）
- 11月25日（木） 2学期期末テスト①
- 11月26日（金） 2学期期末テスト②  
2学年薬物乱用防止教育講演会
- 11月29日（月） 1学年薬物乱用防止教育講演会
- 12月9日（木） 保護者懇談会（～15日）
- 12月17日（金） 生徒総会
- 12月20日（月） 1学年性教育講演会
- 12月21日（火） 地区生徒会  
生徒会新旧役員引継会
- 12月24日（金） 2学期終業式

学校行事、各学年の活動等をホームページでも随時お伝えしています。  
学校長ブログ（校長室から）も新設いたしましたので、ぜひご覧ください。

<http://www.school.umic.jp/ueda1/>

